



137

2026年(令和8年)

4/21 発行

あなたと議会のかけ橋に

茶北町議会だより

# きずな

## 主な内容

- 臨時会…………… 2
- 一般質問…………… 3～6
- 定例会…………… 7～12
- 全員協議会…………… 13

## 都呂々ダムから風車

発行 茶北町議会 TEL35-3337  
編集 議会広報特別委員会

# こんなことが決まりました!!

## 令和8年 第1回議会臨時会 開催日：1月28日

■令和7年度 各会計補正予算 (単位：千円)

議案番号等	事 件 名	補正前の額	補正額	補正後の額	備 考	結果	
承認第1号	専決第8号 一般会計補正予算(第6号)	6,501,638	16,377	6,518,015	物価高騰対応子育て応援手当支給事業費・事務費補助金16,377千円の増額。	◎	
承認第2号	専決第1号 一般会計補正予算(第7号)	6,518,015	9,050	6,527,065	衆議院議員選挙・最高裁判所裁判官国民審査事務委託金9,050千円の増額。	◎	
議案第1号	一般会計補正予算(第8号)	6,527,065	73,470	6,600,535	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金ほか7,340千円の増額。	◎	
議案第2号	水道事業会計補正予算(第4号)	収益的収入	192,429	264	192,693	水道事業繰入金ほか264千円の増額。	◎
		収益的支出	287,811	264	288,075	水道・下水道等利用者支援事業264千円の増額。	
議案第3号	下水道事業会計補正予算(第4号)	収益的収入	320,545	0	320,545	予算組替により増減なし。	◎

【結果の表示について】 ◎全会一致で承認・可決

# 一般質問

(令和8年 第2回議会定例会)

質問 天草広域連合の新ゴミ処理施設について

天草広域連合は、令和5年8月24日に川崎技研を代表とする企業グループと総額368億5千万円で契約した新ゴミ処理施設の建設費・運営費について、焼却灰の資源化が困難になったことが判明し、令和7年5月29日開催の臨時会において契約解除に伴う損害賠償請求権放棄と和解案を賛成多数で可決し、新たな新ゴミ処理場建設が再スタートしたが、副連合長である町長に新ゴミ処理施設に対する考えを2点質問する。



山口利生 議員

とで、新ゴミ処理施設に持ち込まれるゴミが減少し、堆肥センターも産廃処理料を徴収することで赤字削減に繋がると思うが如何か。

町長 ①ゴミ焼却灰のリサイクル処理について、(株)エコアッシュに確認したところ、石炭灰フライアッシュを活用したりリサイクル製品は、出来る製品が一定に保たれるため国の認定や熊本県の許可を受けているが、ゴミ焼却処理場の焼却灰は、燃やすゴミの中心によって日々成分が変化しリサイクル製品として認定されるためには困難が伴うが技術的には可能との回答があった。新たなリサイクル製品の開発は、(株)エコアッシュの事業再開に繋がり、町の雇用拡大にもなるので、天草広域連合において研究できないか提案してみたい。

②ゴミ処理量の減量化には、各家庭や事業所から排出されるゴミの分別収集の徹底とリユース、リデュース、リサイクルの資源循環対策が重要。町内事業系生ゴミの堆肥化については、事業者や収集運搬事業者の皆様との理解と協力を得たうえで推進して参る。

## 全国町村議会議長会表彰 熊本県町村議会議長会表彰

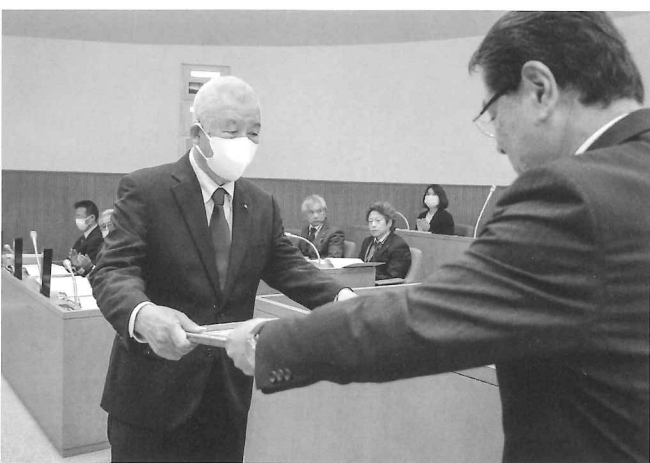
(令和8年2月5日現在)  
(令和8年2月1日現在)

令和8年2月20日に開催された、熊本県町村議会議長会、第76回定期総会において、町議会議員として7年以上在職し功労があった倉田明議員、15年以上在職し功労があった浜口雅英議員への全国町村議会議長会自治功労者表彰が、また、浜口雅英

議員には、熊本県町村議会議長会自治功労者表彰が芥北町議会、野崎幸洋議長へ伝達され、同年3月4日開催の令和8年第2回芥北町議会定例会において、野崎議長から倉田議員、浜口議員それぞれに表彰状が伝達されました。



野崎幸洋議長(右)から倉田明議員へ全国町村議会議長会自治功労者表彰状が伝達されました。



野崎幸洋議長(右)から浜口雅英議員へ全国町村議会議長会並びに熊本県町村議会議長会自治功労者表彰状が伝達されました。

- ① 湯水対策について
- ② 役場職員の処遇改善と人材の確保について
- ③ 社会福祉施設における消費税過払について



高戸幸雄 議員

問① 今年、例年と比較すると少雨の傾向にあるようである。隣接の天草市においては、湯水対策本部が設置された。当町の対策は如何か。生活・生命を維持するためインフラ施設である水源確保の対策は必要不可欠である。現在、町管理外の水道施設に対する整備費補助拡充が求められている。農業においては、河川を利用して取水している地域に対し資材等購入に対する補助の検討を願う。

問② 来年・令和8年度採用予定者数と退職予定の状況を。職員の処遇改善策の一つとして、「管理職の兼務」の解消を求めてきたその結果と、隣接の自治体における令和7年度給与改定の実態を。

町長 湯水対策として、農業面では、農協と土地改良区及び都呂々ダム管理事務所と随時情報交換を行っている。生活用水確保については、主要施設付近に、ボーリング掘削にて井戸を設置し併せて、他の配水池からも供給できるようバイパス管の整備も完了している。

町長 令和8年度採用予定は、9名の内定者が決定。土木技師・保健師・社会福祉士の応募はなかった。退職者は3名。給与改定は、天草市・上天草市両市共も人事院勧告に準じた給与改定がされた。管理職兼務については、採用及び退職者の状況を考慮し行方。

再問 近年物価高騰対策として、国の交付金を充当して町管理の水道料金の基本料金減免策が図られている。町民すべてに公平な支援策として、管理外地域における水源確保対策として、ボーリング申請時は全額自治体負担を願う。

町長 当町の指定管理委託料算定は、消費税を含めた支出見込み額と収入見込み額の差引額を委託料として算定しているため特段問題は無い。

質問者の文責により、質問と答弁の要旨を掲載しています。

問① 中学校における学校給食費の町単独としての展開について

一、教職員は今後も有償なのか  
二、月額給食費の決定方法が全国無償化につき、統一されるのか  
三、令和8年度、中学校における学校給食費無償化に苓北町として取り組まれるおつもりか

町長 教職員は今後も有償となる。苓北町では、国の基準額5,200円を超える額についても、町の財源から手当を行う。実質的無償化を行う。

令和8年4月から小学校に加え、中学校まで拡充し、児童・生徒の学校給食費無償化を実施することとした。

財源として、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金のほか、ふるさと納税寄附金を充てることとし、令和8年度の当初予算案に計上した。

他、令和8年度町保健推進員の報酬費の総額・配分・按分方法について、選挙公営における選挙運動用ポスターの上限額について、を質問した。



廣田 幸英 議員

問② 苓北町富岡四丁目 旧岡野屋旅館について

一、岡野屋旅館の土地建物動産の所有権について  
二、町の復興支援について

町長 林美美子は、庶民の生活と感情を詩情豊かに描く小説を通じて、今もなお多くの国民から共感と支援を得ている有名な作家である。

その者が実際に滞在した、岡野屋旅館の価値を理解し、地域の文化遺産として保存・継承していくことは苓北町にとっても重要な課題である。林美美子に関する書籍を寄附いただき、直筆の絵画や手紙などの貴重な資料も預っており、将来的な展示・活用を見据えた施設整備の可能性の検討を段階的に進めている。前後するが旧岡野屋旅館の土地建物は、旅館の所有者の所有物件となる。鮫島十内の顕彰碑、町内社福法人立図書館に所蔵されている「天草灘」の原稿は、町の文化ブランドの向上に相乗効果が期待できると考えている。

① 国の小学校給食無償化と町の施政方針

② 五和町二江地区の道路改良促進を

③ 富岡西海岸松葉変色と「京の坪」保安林

問① 新年度、国は学校給食費について、公立小学校は無償化する見込みだが、町の対応と施政方針は。

町長 国県から「在籍児童数に基準額5,200円の11ヶ月」を市町村給食費負担軽減交付金として配分されるが、国県の基準額を超える額は、町財源で手当する。

中学校給食費については、町のふるさと寄付金等を財源とし、その全額を無償化します。

8年度は、児童231名、生徒150名で計381名の年間食材費25,869千円を見込んでいます。

なお、重点施策等は予算特別委員会にて説明したい。

再質 ふるさと納税には努力されているが、引き続き努力願いたい。

問② 平成21年、本渡での会合で私は二江道路について尋ねたところ、県は22年に発表できる旨を受け、今日まで機会ある毎に尋ねているが思うよう進まない。最近の状況と今後の見通しは。

町長 7年10月「天草地域国県道路整備促進期成会」で、毎年早期事業化に向け県及び県議会に要望活動を行っている。県はこれまで、現道拡幅案やバイパス案など検討されたが、大きな事業費が見込まれ、現在まで事業化できていない。



倉田 明 議員

7年度は、二江地区未整備区間の離合4箇所が竣工予定。

再質 今日まで街中の側溝、離合箇所等は改良されつつあるが、令和5年「期成会」の要望の折り、私は県と県議会に対し「この二江道路はこのままでは100年経ってもできませんよ」と発言した。

地方は交通インフラ整備が進まない、ますます過疎化し疲弊する。

問③ 地元住民より西海岸林の松葉変色の申し出があり、変色は全体の半分ほどで一部に枝枯れも見られる。県の見解は。

町長 松くい虫の枯損松は伐採されている。色落ち箇所は暫く状況を確認しながら判断すること。

再質 関係は不明だが虫も落ちていた。また、浜の町海岸松の一部にも同様な変色が見られる。何か投与などの検討を願いたい。

また、「京の坪」には過去、松を植林されたが松くい虫や雑草などで全滅し、令和6年2月ドングリ系など混植されたが、木の成長が乏しい。

町長 3種類約600本を混植した。草の下刈りや植栽林の生育状況を確認を行っていく。

再質 幼木時は草の下刈りが大事。

苓北町巡回バスの運行について

問 巡回バス運行は、高齢化が進み、運転免許返上など多くなり、その必要性が重要視される。各方面の平均利用者数は

○坂瀬川方面  
○志岐・富岡方面

都呂々方面 それぞれ何人が運行ルートで、1号車と2号車が同じ時間帯、また、数分の違いで通過するダイヤになっている。

坂瀬川方面は、上津深江、坂瀬川木場・鶴、西川内、都呂々地区は、木場・小松・萱の木と広範囲になるが、1台で運行した場合、運行経路、運行時間は長くなるが、乗車される方で、行先によって便利面もあると思う。また、地域で週に2回の運休がある。1台は、他地域の運休をなくし、町民の移動手段として利便性が高まると思う。

ダイヤ改正を工夫し、同一時間帯の運行でなく、運行時間を変えることで、もっと利便性が高まると思う。速やかに検討する価値があるのではないか、お伺いします。

答弁 ○坂瀬川方面 1. 13人  
○志岐・富岡方面 3. 53人  
○都呂々方面 0. 38人

昨年10月にダイヤの見直ししており、データが十分でないが引続きデータ収集に努め、必要に応じて細やかな

- III 小中学校合併に伴い校舎移転計画進められている。近年新しい生活や、学習空間を求めて、都会から地域への学童留学が行われつつある。苓北町は、海、山、歴史ありで教育環境は素晴らしい所。特色ある学校作りで、人口の増加や、地域振興も考慮に入れた、学校作りを望むが、この事から、将来に期待するには、志岐小学校跡では、敷地に限りがある。この点、苓北中学校が最高の場所と思う。そうでないなら新天地を求めて対応すべきと考えるが(審議会の答申を尊重し、規模の適正化、適正配置を進めていく) \*他4点については紙面の都合で割愛させていただきます。
- IV 地域づくりは、官民一体となり行わなければならない。本町の実態を尋ねる。(皆様からのアイデアや提案は町として耳を傾け手伝いをしていくべきと考える)
- V 地場産業の育成と町のあり方についてお尋ねる。今や公共工事は減少し、地域経済を支えてきた事業所は廃業し、商店も店を閉める店舗もある。自治体が高率補助金の事業を地域と結びつけ、事業の遂行を望むが、要望してきた数々の案件も繰り延べされ、高率の補助事業どころか完成すら難しい。この様な状況についてお尋ねる。(住民の福祉増進のため、出来ることから順番に勤めていけるよう努める) \*経済対策考慮無し
- VI 税の不公平是正のために、コンバイン、田植機等、非課税改正を議員提案したが、否決されてきた。軽自動車税は、100%賦課されていないと思うが、課税状況についてお尋ねる。(可能な範囲で対応を行っており、原稿法令のもとでは実施できない) \*質問内容と異なる。コンバインやバックホウ等クローラつき車両は法令には明示していない。
- VII 国の支援により地域振興券が発行されるが、前回は一般共通券と、飲食店等限定券に区別され、配布されていた。この2種の配布に、町民の不満もあった。私も、2種類の発行は必要はないと思うし、反対です。今回の配布計画について尋ねる。(今回も前回と同様、2種類としている)
- VIII 自治体職員の技術力(専門職)低下が問われている中、苓北町はどのようになされるのか質問した経緯がある。苓北町の現状はどのようになっている。(現場実践と経験蓄積を念頭に職員の技術力向上に努める)
- IX 旧富岡温泉センター跡地が資材置き場として活用されている。資材置き場として活用した場合その重力に耐えるか尋ねる。(適切な維持管理に努めていく)



錦戸 俊春 議員

ルートの見直しを行っていく。同一方向を1台にままとめると運行時間が延びる。一方で方面毎の運休日ななくすなど、利便性の向上に繋がるがダイヤの大幅な変更になる。暫く大きな混乱が生じることになる。検討している。

天草広域連合新ごみ処理施設(提案)

問 家庭系一般廃棄物と、事業系の燃やせるごみの一部を引き受け、燃やさず微生物の力で分解・再資源化している好気性発酵乾燥方式で、発酵槽に入れ密閉し、発酵・乾燥による分解を待つ方法がある。

ごみの分解後に出たプラスチックから作られる固形燃料は石炭と同等の熱量で、置き換えて使うとCO2削減が可能。検討する価値があると思う。お伺いします。

答弁 好気性発酵乾燥方式は、令和元年8月に策定した基本計画で、技術的に未熟であること。固形燃料化方式は減容効果が低く過去5年間の稼働開始実績がない理由で採用されなかった経緯がある。生成する期間、固形燃料の取引先など問題が残る。処理方式を今後研究検討していく。



松本 良人 議員

質問者の文責により、質問と答弁の要旨を掲載しています。

安心して暮らせる為の、町づくり要望等について( )内は町解答

- I 苓北町の町花である実は、椿油として利用され今や、オリーブ油以上に植物油として重宝されている。荒廃地に植栽を行い、ツバキ油の生産と、併せて、環境、景観の維持は元より、観光を初めとした地域の活性化が図れないか?(地域振興策のひとつの手段ではないかと考えている)
- II これまでに要望をしたきたが未解決ぶんの一部を聞いた
  - 町道小松線入り口決壊補修(8年度に復旧工事をを行う)
  - ①町道竹の迫1号線路側決壊(来年度②と併せて復旧を行う)  
②町道竹の迫1号線路肩埋没による路面補修
  - 町道古里2号線、多々良3号線ほか、都呂々中央部、路面補修(来年度舗装計画、その他は年次計画により補修工事を検討する)
  - 国道389号線竹の迫、財産区山林抜開及び、崩壊対策 \*質問内容と異なる
  - ①町道年柄理川内線路面陥没及び、路面補修 \*場所が違う  
②町道年柄理川内線路肩決壊仮設箇所の早急な対策 \*場所が違う
  - 志岐漁港トイレ新設(区内意向を調整中)
  - 三会川下流域の越流、防災対策、紺屋町水没の恐れ(対策無し)
  - 地域の方々のご要望があった富岡の老人福祉センターと港湾管理道路、緑樹帯間の草刈りがペーロン大会前に出来なかった理由 \*質問内容と異なる回答
  - 都呂々川支川、数十年前から決壊これまで出来なかった理由(今から確認する?)
  - 巡回バスの見直し(10月からのダイヤのみ直し結果を今後活かしていく)
  - 国道389号線、都呂々宮地岳線交点交通安全対策(町民の交通安全意識の高揚を図っていく?) \*交通安全対策考慮なし
  - 町内旧バス路線の富岡〜坂瀬川間並のインフラ対策(苓北町の公共交通のあり方を進めていく)
  - 通学バスの見直し(スクールバスを活用した運行計画の実現は難しい)
  - 国道389号線、萱の木1号線起点部雨天時の水没(完了した)
  - 小松、妙見の滝、滝つぼ及び、河川浚渫(浚渫の実施を検討する)
  - 都呂々港湾管理道路の封鎖による対策(狸川内区長の下承を得、階段工施工中)
  - 都呂々、小松宇土線改良(用地取得に取り組んでいく)
  - コミセン附属建物維持管理(利用環境の向上に努めていく)
  - 志岐、農協本所に通ずる町道志岐内田線の拡幅(用地買収に難があり、工事が出来ない) \*拡幅工事意欲なし
  - 町道濁り淵1号線舗装、改修(来年度舗装は完了)

1. 義務教育学校設立についての提案  
2. 道路の安全管理についての提案



田嶋 健司 議員

令和12年に義務教育学校に一度に移行するのではなく、まずその前に4つの小学校を先に統合することはできないか。児童・生徒のストレスや、通学路の安全確認問題、スクールバス利用の混乱等の軽減や対応がしやすいのではないかと。

令和10年に4つの小学校を統合する場合、現在の志岐小の教室では収まりきれない。

また、令和10年度から義務教育学校の増築校舎棟の建設工事を予定。建設工事の最中にスクールバスの乗降等の安全面の確保や駐車スペースの確保をすることは難しく、統合に際しての事前協議や調整事項が多種多様にわたり非常に困難であり、現行のスケジュールの中で進めていくことが望ましいと考える。加えて、子どもたちの心理的安定性など総合的に考慮し、学校間の学年ごとの交流活動や教育活動の先行展開を行い、義務教育学校開校に向けてしっかりと準備を進めていきたいと考える。

児童・生徒のストレスや、通学路の安全確認問題、スクールバス利用の混乱等の軽減については、統合準備の協議の中で取り組んで参る。

昨年の11月には、国道389号の内田・白木尾区間で、水道管破裂と道路陥没が立て続けに発生しており、道路の陥没においては夕方に発生した為に

問②

翌日まで対応されずに放置されていた幸いにも、事故が発生しなかったものの、九州初のナショナルサイクルールの指定を目指しているコースでもあるため、安全管理にも配慮が必要ではないかと。道路の陥没や異変は、急に起こるものではなく、徐々に亀裂が入るなど何らかの予兆があり、生活者の目線から気付く事が多くある。熊本市では、公式LINEを通じて市民が通報できる機能を活用して、昨年の6月から本格運用を開始しているようだ。苓北町でも、そのような取り組みはできないか。

町民の方々が平常時及び災害時に、道路の変状等を発見された際の通報は電話による通報があり、各行政区区長、消防団の班長以上の団員、全役職員は、「よかナビ」を活用した通報が可能になっている。「よかナビ」による通報を全町民に広げることがかかっている。熊本市などの先行自治体の運用状況を確認しながら検討を進めて参る。道路パトロールをより一層強化し、「よかナビ」の通報機能も最大限に活用しながら、陥没や変状等の早期発見、早期対応、早期補修を目指し、引き続き道路の安全管理に努めて参る。

特殊大型トレーラーが頻繁に国道を走行しているが、町は把握しているか。火力発電所から町外に石炭灰を搬出している。

この熊本天草幹線道路の整備促進は、関係自治体である熊本市、宇土市、宇城市、上天草市、天草市と苓北町が連携し、積極的に取り組んでいる。今年度、天草エアラインでは、県と2市1町が入った中で、令和8年度から令和12年度までの中期経営計画の策定作業を行っており、天草エアラインの経営安定化は天草地域の発展のためにも非常に重要。現行の路線・便数を維持しつつ、それに加えて旺盛かつ多様化する今後のインバウンド需要に対応するとともに、天草地域への新たな観光やビジネス客の増加策などを踏まえていくことから、新たな展望が開けていければと考えている。



浜口 雅英 議員

議員発言のとおり、熊本天草間の幹線道路の早期完成や天草エアライン等の経営安定化は、人口の拡大にも繋がります。人口減少を抑え企業誘致を進めるための非常に重要な要素のひとつ。

このように基幹路線の整備は躊躇してはならない。使用する機体が不足する様であれば新たに購入する等の方策をとるべき。複数の交通手段が整備されれば、幾種類かの産業振興も期待出来る。

市内から遠隔地にある事から残念ながら無い。その他の業種は富岡の町有地に製塩工場。

そして、宿泊施設の構想が2件ある。「熊本天草幹線道路の早期完成」について現在までの進捗状況は、計画延長約70kmのうち、供用区間は松島有料道路と松島有明道路、三角大矢野道路に本渡道路を加えても18・3kmで、全体の進捗率は26・1%。

(一) 防災のための海岸線の保全

線状降水帯等の異常気象による水害に備え、富岡巴崎、白木尾海岸保全区域の浸食対策。

苓北町の海岸については、「海岸保全施設維持管理マニュアル」に基づき必要な箇所は、随時、補修工事等を行っている。

こんなことが決まりました!!

令和8年 第2回議会定例会 開催日：3月4日～3月12日

■条例改正等について

Table with 4 columns: 議案番号等, 事 件 名, 結果, (単位: 千円). Rows include items like '苓北町国民保護協議会条例の制定について' and '苓北町行政手続条例の一部を改正する条例について'.

【結果の表示について】◎全会一致で可決 ○賛成多数で可決 一議案撤回により表決なし (賛否表はP10のとおり)

質問者の文責により、質問と答弁の要旨を掲載しています。

義務教育学校開校に向けての教育長の考え方について

少子化の中、学校規模の適正化や校舎建て替え等、いくつかの問題を検討しながら我が町は小学校6年間、中学校3年間で9年間をひとつとした新しい形の義務教育学校を創ると決定され、令和12年4月開校に向けて進められている2025年9月現在、全国で261校、熊本県で4校開校している。各学校、それぞれの特色を生かすよう努力されているようだが、我が町においてはどのような形で、苓北ブランドの学校を創る考えを問う。

「すべての子ども達が未来を幸福に生きていくために、必要な力を育み、多様な人々と共に、時代の変化を乗り越え、社会の一員として、豊かで充実した人生を送る基盤を育む」ため、地域の宝である子どもたちの「ふるさとを愛し、ふるさと苓北を大切にすること」を愛し、豊かな人間性と創造性を備えた未来を切り拓く人づくり」を基本理念として、取り組んで参る。

新しい義務教育学校ということで町民の関心も高く、期待されている。私自身も大いに期待している。そういう意味でも、学校は町全体で知恵を出し合って、作っていかねばならないと考える。そのためには、町民の意見を出せる、聴ける、反映させる、ことができる場所・場面を作ってもらいたい。

保育園・小中学校の保護者、一般の町民の方々の意見を聴取する機会を作りながら進んで参る。 錦戸教育長のもと、新しい感覚で、この学校が新たな町づくりの拠点のひとつとなるよう、頑張ってもらいたい。

国における小学校学校給食費無償化食費に対する考え方について

令和8年4月から国の制度として、全国の公立小学校で学校給食費無償化が開始される。国の支援は、保護者の所得制限は設けず、児童一人当たり、5,200円が補助され、保護者負担の軽減が図られるもの。山崎町長は、小中学校の学校給食費無償化に対しては国の動きと町の財政を見ながら、対応していきたい、と答弁されてきたが、小学校が無償化となり、残り中学校だけとなるが、今後の考え方を問う。



田崎 稔 議員

町では、国の物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金のほか、町へのふるさと納税寄附金を充てることとし、小学校に加え、中学校まで拡充し、児童・生徒の学校給食費無償化を実施することとした。

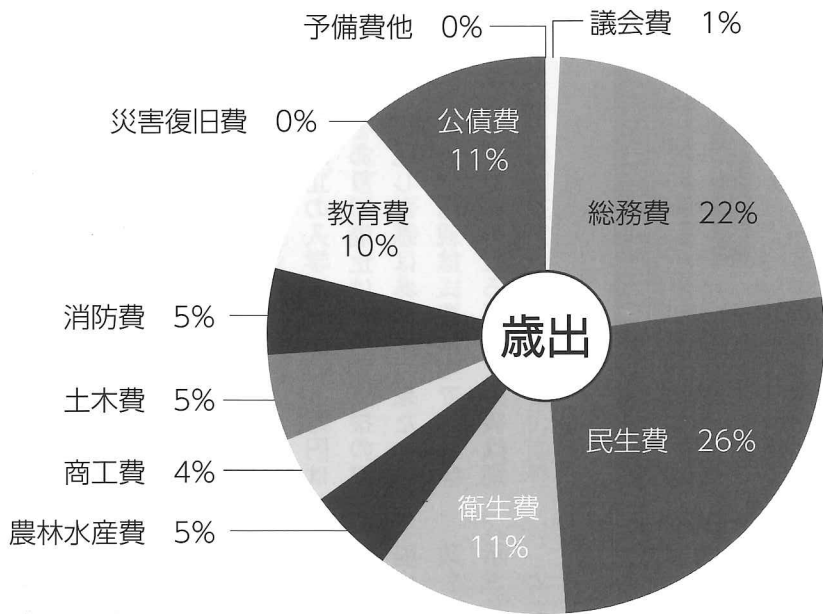
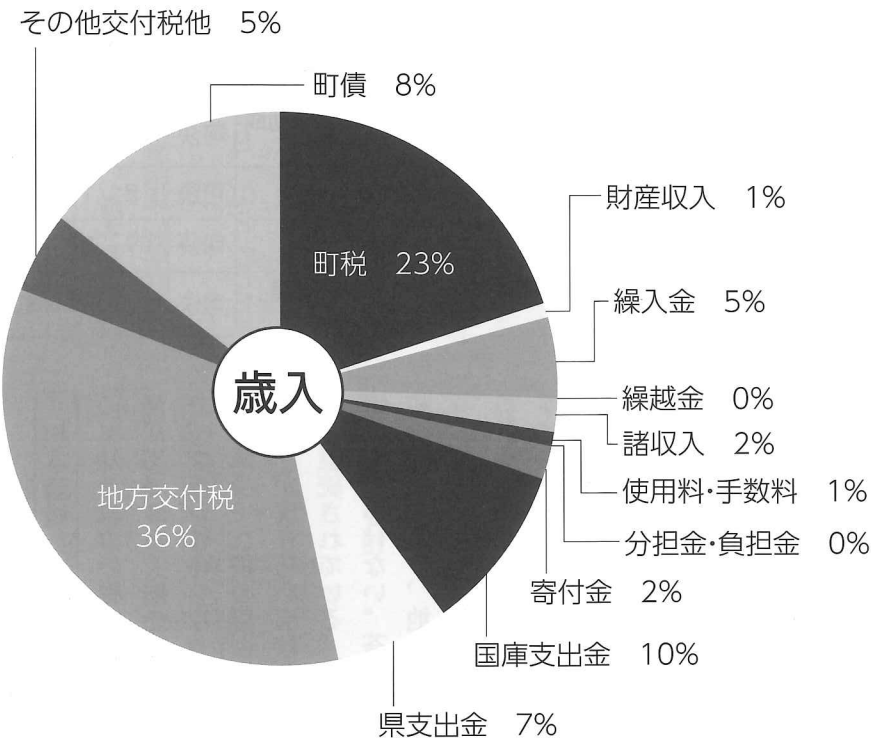
小学校では、国・県の基準額を超える額、中学校では、その全額を無償化するもので年間食料費、令和8年度については、25,869千円を見込んでいます。

家庭用消火器の取り扱いについて 火災の初期消火に最も効果的なのが「家庭用消火器」とされる。その消火器を以前、消防団を通じて、販売された経緯があり、その詰め替えの希望があるが、個人的には難しい、町として、対応してもらえないかと、との意見がある。

町として消火器の設置・点検・交換の幹線はできないが、消火器の設置の在り方を含めて、町広報紙でもお知らせ、不明な点があれば、町消防団に問い合わせてもらいたい。

一般会計 (単位：千円)

区分・率	項目	予算額	
自主財源 34%	町税	1,313,488	
	財産収入	67,166	
	繰入金	303,965	
	繰越金	10,000	
	諸収入	119,675	
	使用料・手数料	50,831	
	分担金・負担金	19,532	
	寄付金	141,428	
	依存財源 66%	国庫支出金	571,680
		県支出金	375,780
地方交付税		2,069,000	
その他交付税他		282,155	
町債		469,300	
100%	合計	5,794,000	



※円グラフにおける小数点以下の数字は調整されています。

項目	予算額
議会費	66,696
総務費	1,259,053
民生費	1,515,423
衛生費	633,228
農林水産費	265,990
商工費	200,736
土木費	316,425
消防費	306,733
教育費	590,990
災害復旧費	84
公債費	628,642
予備費他	10,000
合計	5,794,000

※臨時財政対策債とは、国から交付される地方交付税の不足分を補うための特例的な町債です。用途は自由で、元利償還金は翌年度以降、国が地方交付税で全額措置を行うものです。

基金残高	2,849,397
起債残高 (うち臨時財政対策債)	5,992,934 (1,827,171)

※令和8年3月見込み額

令和7年度各会計補正予算について (単位：千円)

議案番号等	事件名	補正前の額	補正額	補正後の額	備考	結果	
議案第25号	苓北町一般会計補正予算(第9号)	6,600,535	△6,080	6,594,455	上津深江広域避難地防災公園整備事業に係る工事請負費ほか6,080千円の減額。	◎	
議案第26号	苓北町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	1,056,822	△410	1,056,412	保健基盤安定繰入金ほか410千円の減額。	◎	
議案第27号	苓北町介護保険特別会計補正予算(第3号)	1,097,675	20,468	1,118,143	居宅介護サービス給付費ほか20,468千円の増額。	◎	
議案第28号	苓北町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	152,649	436	153,085	国保連合会負担金ほか436千円の増額。	◎	
議案第29号	苓北町宅地造成事業特別会計補正予算(第2号)	12,025	△7,954	4,071	不動産売却収入ほか7,954千円の減額。	◎	
議案第30号	水道事業会計補正予算(第5号)	収益的支出	288,075	△6,716	281,359	収益的支出から資本的支出への予算組替えほか6,716千円の減額。	◎
		資本的収入	24,476	△400	24,076	建設改良費400千円の減額。	
		資本的支出	54,220	6,320	60,540	収益的支出から資本的支出への予算組替えによる6,320千円の増額。	
議案第31号	下水道事業会計補正予算(第5号)	収益的収入	320,545	207,307	527,852	下水道事業繰入金ほか207,307千円の増額。	○
		収益的支出	536,143	△113,935	422,208	有形固定資産減価償却費ほか113,935千円の減額。	
		資本的収入	266,361	△189,783	76,578	下水道事業繰入金ほか189,783千円の減額。	
		資本的支出	263,883	21,482	285,365	工事請負費ほか21,482千円の増額。	

【結果の表示について】◎全会一致で承認 ○賛成多数で可決(賛否表はP10のとおり)

令和8年度各会計当初予算について (単位：千円)

議案番号	事件名	本年度予算額	前年度予算額	比較	結果	
議案第16号	苓北町一般会計予算	5,794,000	6,091,000	△297,000	○	
議案第17号	苓北町坂瀬川財産区特別会計予算	2,467	2,582	△115	◎	
議案第18号	苓北町都呂々財産区特別会計予算	77,874	75,129	2,745	◎	
議案第19号	苓北町国民健康保険特別会計予算	1,002,174	1,037,873	△35,699	◎	
議案第20号	苓北町介護保険特別会計予算	1,077,023	1,077,196	△173	◎	
議案第21号	苓北町後期高齢者医療特別会計予算	171,183	156,188	14,995	◎	
議案第22号	苓北町宅地造成事業特別会計予算	12,188	11,573	615	◎	
議案第23号	水道事業会計予算	収益的収入	205,237	192,419	12,818	◎
		収益的支出	231,046	277,957	△46,911	
		資本的収入	21,594	24,476	△2,882	
		資本的支出	60,691	45,691	15,000	
議案第24号	下水道事業会計予算	収益的収入	478,706	310,109	168,597	○
		収益的支出	405,892	525,740	△119,848	
		資本的収入	95,164	243,539	△148,375	
		資本的支出	262,860	241,033	21,827	

【結果の表示について】◎全会一致で承認 ○賛成多数で可決(賛否表はP10のとおり)

■条例改正等賛否表 ( ○ 賛成 ・ ● 反対 ・ 議長(野崎)は採決に加わらない )

Table with columns for 議案番号等, 事件名, 結果, 表採決 (賛成: 反対), and individual council members (田嶋, 山口, 廣田, 松本, 浜口, 野崎, 倉田, 錦戸, 高戸, 野崎).

議案第14号 天草拓心高校マリン校舎入学準備資金の助成に関する条例を廃止する条例について

議案に反対討論

田嶋議員
本条例は天草拓心高校マリン校舎入学を推奨し、地元中学校からの入学者を支援するものである...

松本議員

マリン校舎の歴史は、富岡にあった漁民道場から、端を発し水産高校となり、マリン校舎となった...

議案に賛成討論

倉田議員

私も茶洋高校の役員(育友会)時から町に高校、銀行、ホテルがあるのは魅力的なこと...

議案に反対討論

山口議員

今回の補正予算は、資本的収支予算の収入の他会計補助金(一般会計繰入金(公債費分))を収益的収支予算の収入の他会計補助金(一般会計繰入金(事務費分))として組み替え...

議案第16号 令和8年度茶北町一般会計予算(案)に対する討論

議案に反対討論

浜口議員

今後、中東情勢の悪化によりガソリン等価格の上昇が考えられます。この事は現状の物価高に上乘せするものです。

議案に賛成討論

廣田議員

本予算案は、将来の発展を見据えた持続可能な予算編成であること。また、教育、子育て支援、防災・減災、福祉の充実など、地域課題への具体的対応を評価する。

茶北町議会 予算審査特別委員会 審査報告書

茶北町議会予算審査特別委員会 委員長 山口 利生

- 1. 審査年月日 令和8年3月9日・10日・11日
2. 出席委員 山口利生委員長、倉田明副委員長、田嶋健司、廣田幸英、松本良人、浜口雅英、田嶋稔、錦戸俊春、高戸幸雄各委員
3. 委員外出席 野崎幸洋議長
4. 審査の過程 執行部の出席を求め、各会計予算(案)の費目ごとに慎重に審査しました。
5. 審査の結果
①一般会計予算(案)
②坂瀬川財産区特別会計予算(案)
③都呂々財産区特別会計予算(案)
④国民健康保健特別会計予算(案)
⑤介護保険特別会計予算(案)

- 6. 要望事項の提出(次のとおり)
①一般会計
(1)歳入について
○ふるさとづくり寄附金の増については更に努力されたい。
(2)歳出について
○企業誘致活動及び地場産業の活性化について更に努力されたい。
○少子高齢化社会に対応した人口減少対策事業の充実と強化に努められたい。
○物価高騰等への対応に努められたい。
②特別会計
○国民健康保険特別会計
健康づくり事業の強化・充実に努められたい。
○介護保険特別会計
介護予防事業の強化・充実に努められたい。
○後期高齢者医療特別会計
健康づくり事業の強化・充実に努められたい。
③事業会計
○水道事業会計・下水道事業会計
将来を見据えた事業計画を策定し、会計事務の充実・強化に努められたい。
④特記事項
○国・県の各種補助金・交付金制度について調査・研究を行い、補助金等の確保に努められたい。
○都呂々地区の風力発電建設にあたっては、事業者との連携を図り、事故防止に努められたい。
○上津深江広域避難地防災公園整備については、防災公園の効果と安全面を検討しながら、維持管理に努められたい。
○茶北町温泉センター及び茶北町温泉プールについては、ボイラーの一元化及び再生可能エネルギーを活用した給湯システムの導入等を検討されたい。

■陳情等文書の取り扱い結果

Table with columns: 受理年月日等, 件名, 提出者, 結果. Includes items like 臓器移植に関わる不正な臓器取引や移植目的の渡航等を防止し、国民が知らずに犯罪に巻き込まれることを防ぐための環境整備等を求める意見書提出の陳情.

■人事案件(任命・選任)について

Table with columns: 議案番号等, 事件名, 結果. Includes 教育委員会の委員の任命について (木山 健太郎, 茶北町都呂々, 令和8年4月1日から令和12年3月31日).

# 公私立小中学校給食費無償化と子育て支援等の 拡充を求める意見書 **可決**

2023年1月、急速な少子化に、当時の岸田文雄首相は「社会機能を維持できるかどうかの瀬戸際」と強調され、「異次元」と銘打った子ども・子育て政策の拡充を図られてきたが、2026年2月26日厚労省人口動態統計速報によると、2025年(令和7年)に生まれた外国人を含む子どもの数は70万9,809人で、統計を始めた1899年(明治32年)以降で最少を更新した。外国人を含む出生数が70万人となるのは2042年と見込まれていたが、政府想定より17年早く少子化は加速化している。

国連人口基金(UNFPA)が2025年6月発表の「世界人口白書2025」によると、2025年世界の総人口は82億3,200万人と推定され、前年より1億1,300万人増加し、2100年の世界人口は102億人と予測される中、国立社会保障・人口問題研究所は、2025年9月1日時点(概算値)で、日本の総人口は1億2,317万人で、前年同月比61万人減少している。また、2100年日本の総人口は5,000万人を割り込み、4,959万人との試算もある。

少子化は、地方自治体の形成はもとより、将来の労働力不足、社会保障、経済財政に大きな影響が懸念され、国力の低下、ひいては国の存亡に関わることでもある。

2026年4月から、公立小学校給食無償化は実施されるが、引き続き、私立小学校及び公私立中学校給食無償化の早期実現、併せて、国の将来を担う子どもたちへの支援の拡充と、若い世代が子育てに夢が持てる環境の整備を、国の責任のもと国策として早急に取り組まれることを下記のとおり強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

記

1. 私立小学校及び公私立中学校給食無償化の早期実現
2. 国の将来を担う子どもたちへの子育て支援の拡充
3. 若い世代が子育てに夢が持てる環境の整備

令和8年3月12日

内閣総理大臣 高市 早苗 様  
 財務大臣 片山さつき 様  
 総務大臣 林 芳正 様  
 内閣官房長官 木原 稔 様  
 厚生労働大臣 上野賢一郎 様  
 文部科学大臣 松本 洋平 様  
 衆議院議長 森 英介 殿  
 参議院議長 関口 昌一 殿

苓北町議会

提出者 倉田 明議員  
 賛成者 浜口雅英議員

## 全員協議会

令和8年3月5日(木)

苓北町教育委員会事務局から、次の説明を受けた。

### 1. 苓北町教育大綱について

#### ■大綱の策定と目的

現状と課題を踏まえ、教育を単なる知識習得の場だけではなく、地域の持続的な活力を創る基盤として位置づけている。

#### ■期間

義務教育学校の開校目標年度、令和12年度を見据え、令和8年度から12年度までの5年間としている。

#### ■最終目標

「人が輝き、地域が輝くまちづくり」の実現並びに、町民一丸となって「夢と活力、優しさに満ちた苓北」を創造することを最終目標とする。

#### ■基本理念

「ふるさと苓北を愛し、ふるさと苓北を大切に育む心と態度を育み、個人の尊厳を重んじ、豊かな人間性と創造性を備えた、未来を切り拓くひとづくりに。」

#### ■目指す子供像、町民像

- (1) 未来を創造する人。学ぶ喜びを感じ、自立し、多様な人々と協働しながら、未来を主体的に創造し、社会に貢献できる苓北の子と町民。
- (2) ふるさとを愛する人。ふるさと苓北に誇りと愛着を持ち、地域社会の発展に寄与する苓北の子と町民。

#### ■教育施策の方向性

- 大きく6つの基本目標を設定
- (1) 苓北の未来を拓く、特色ある義務教育学校の創生。
  - (2) 子どもたちが学び育ち合う学校環境の充実と深化。
  - (3) ふるさと苓北の「人・海・文化」が育む学校づくり。
  - (4) 多様な学びが響き合う「教育のまち・苓北」のネットワーク構築。
  - (5) 自分のよさを輝かせ、多様な人々と共にたくましく未来を拓く人材の育成。
  - (6) 豊かな人生と活気ある地域を創る「生涯学びのサイクルの構築」。

#### ■結び(未来への指針)

本大綱は、苓北町の子どもたちが、ふるさとへの誇りを胸に、変化の激しい未来を自らの手で切り拓いていく

ための指針であり、町民皆様の生涯の学びを推進していくための指針でもある。

教育は「百年の大計」と言われるように、その成果が目に見えるまでには時間がかかるかもしれないが、子どもや町民一人一人が「自分のよさ」に気づき、自律的に学び、多様な人々と手を取り合って進む一歩一歩が、やがてこの苓北町を、より豊かで活力あるものへと変えていく原動力となる。

新たに創生する義務教育学校を核として、家庭、学校、そして地域が「チーム苓北」として一体となり、子どもたちの成長を支え抜く。その歩みを止めることなく、私たちは「人が輝き、地域が輝く、希望あふれる教育のまち」の実現に総力を挙げて取り組んでまいる。

苓北教育のさらなる発展に向けて、温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。

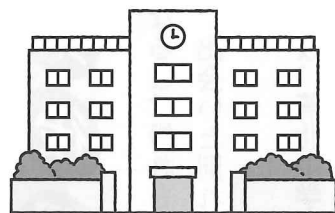
### 2. 苓北町義務教育学校建設基本構想について

教育委員会において、令和7年10月1日に開催した第6回教育委員会議において、令和12年度に開校予定の義務教育学校に関するソフト面、

ハード面の取組についての協議を行った。また、令和8年1月27日に開催した第9回教育委員会議において、苓北町義務教育学校建設基本構想についての協議を行った。

その第9回教育委員会議の中で、義務教育学校建設校舎の配置については、志岐小学校プールと学校給食共同調理場を解体し、その敷地に調理場を増築校舎と一体型で造る案が、仮設調理場の費用はかかるものの、校舎敷地が十分確保され、学校運営の管理面や児童生徒の安全な動線の確保など、日常的な利便性が最も高いものとの判断に至った。

そして、令和8年2月24日に開催された第14回苓北町総合教育審議会において、町長、副町長、教育委員4人において、最終的な協議・調整行われ、教育委員会の方針を踏まえた前記の案で進める方針が確認された。





町花「はまゆう」

# 議 会 日 誌

(1月20日以降分)



町木「ツバキ」

## 1月

- 20日 県町村議会議長会議員研修会 (Web研修: 苓北町役場)
- 28日 令和8年第1回苓北町議会臨時会

## 2月

- 20日 議会運営委員会

## 3月

- 4日 苓北町議会議員研修会
- 4~12日 令和8年第2回苓北町議会定例会 (9・10・11日は予算審査特別委員会、7・8日は休会)
- 5日 全員協議会
- 9日 議会広報特別委員会
- 11日 総務文教厚生常任委員会・建設経済環境常任委員会
- 31日 議会広報特別委員会

## 4月

- 7日 議会広報特別委員会

議会だより『きずな』に対するご意見をお寄せください。

### 次の定例会は

# 6月

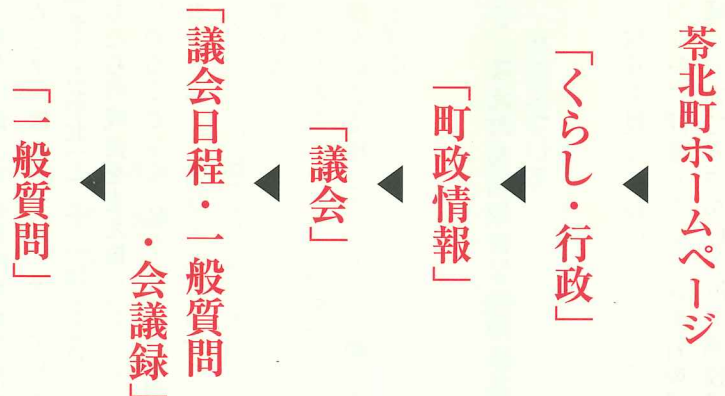
です。

3月定例会の傍聴者は、**34人**でした。

会議録は、右記「議会日程・一般質問・会議録」内の「会議録」で閲覧できます。

※令和8年第2回定例会(3月)の会議録は、令和8年6月に閲覧可能予定です。

### “定例議会の一般質問がインターネットで聞けます”



上記の順で開いて行くと一般質問の様子が録音放送にて聞けます。

## 編集後記

春半ばになると、紛れもなく桜の花が咲き、出会いと別れの時となる。

地区の小学校、苓北中学校の卒業式に参加させてもらったが、子どもたちの涙に思わずもらい泣きして、眼鏡が曇り、はずして拭くのに照れくささと、数十年前の我が身を思い出してしまった。

毎年、春を迎えることは、素晴らしいことであるが、今年の春はそうではない。

中東情勢の悪化により、原油価格は高騰し世界経済をゆるがせている。その影響は日本の経済までも波及し、物価の高騰は止まるところを知らない。

国や自治体もリーダーの善し悪しで、民の幸福度は変わる。私も政治家の端くれ。水戸黄門を見ながら頑張ろう。

議会広報特別委員会